

事務事業名	公民館管理費										担当課	部課名	生涯学習部片瀬公民館			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	001	説明	01	課等の長	横田 淳一	電話	6264

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務									
事業概要	公民館の円滑な運営・管理のための施設等の維持管理。															
対象	1. 個人	市民										435,121	人			
根拠法令等	法律等	社会教育法, 地方教育行政の組織及び運営に関する法律, 藤沢市公民館条例														
事業実施内容	適切な施設・設備等の管理を行い, 利用しやすい環境を整えた。															
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : (有)工匠, 篠崎電気管理事務所) (委託等内容 : 片瀬しおさいセンター庁舎管理, 自家用電気工作物保安管理) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()															

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 13,506 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	7,234 千円	施設修繕, 光熱水費
		役務費	320 千円	電話料金, 植木剪定手数料
		委託料	5,780 千円	片瀬しおさいセンター庁舎管理, 自家用電気工作物保安管理
		使用料及び賃借料	172 千円	印刷機, 電話機
財源内訳	R2年度 支出済額 13,506 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	1,289 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 (光熱水費実費収入)	77 千円	
		一般財源	12,140 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.14人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.14人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み, 会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	7.00人
---------------	-------

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	29,990	29,065	29,374	31,614			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	17,459	16,512	16,805	19,077			
	事業費(支出済額)	16,009	15,067	15,347	13,506			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	1,450	1,445	1,458	5,571			
	①常時勤務職員等の給与等	1,383	1,375	1,371	1,213			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	4,282			
	③退職金相当額	67	70	87	76			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	12,531	12,553	12,569	12,537			
	①減価償却費	12,569	12,569	12,568	12,568			
	②退職給与引当金繰入額	-38	-16	1	-31			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	70.15	427,501	67.70	429,317	67.83	433,060	72.66	435,121

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		施設等の維持・管理を目的とした事務事業のため、指標の設定はできない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	片瀬しおさいセンターは供用開始から24年を経過し、設備の老朽化や樹木の計画的な管理に課題がある。利用者の安全性・利便性・快適性の確保が必要である。
(2) 課題解決のための今後の取組	施設の安定的な運営のために、計画的な補修の実施や管理計画の策定及び予算要求を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	庁舎管理において、一部施設の修繕を行い適正な施設整備を行い利用しやすい環境を整えた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	今後も引き続き円滑な公民館運営を図ることができるよう、必要な維持管理を行っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
17	公民館使用申請に関すること	無	無	1	
18	公民館使用料に関すること	無	無	1	
19	公民館使用取消申請に関すること	無	無	1	
20	片瀬しおさいセンター施設修繕に関すること	無	無	1	1
21	片瀬しおさいセンター総合庁舎管理業務委託に関すること	無	無	1	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	公民館事業費										担当課	部課名	生涯学習部片瀬公民館			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	002	説明	01	課等の長	横田 淳一	電話	6264

1. 事業概要

事業開始年度	令和 2 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	社会教育事業の企画実施等,公民館運営を行う。 ※本事業は令和2年度から事業名を変更したもの(旧事業名:公民館運營業務費)。						
対象	1. 個人	市民					435,121 人
根拠法令等	法律等	社会教育法,地方教育行政の組織及び運営に関する法律,藤沢市公民館条例					
事業実施内容	市民の自主的な学習・文化活動の機会を提供し,生涯学習活動の支援を行うことにより,生涯学習活動の推進及び市民自治の向上と市民文化の創造を図るため,次の事業を実施した。 1 講座等事業の実施						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 847 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報償費	639 千円	各種講座・講習等の事業の開催
		需用費	157 千円	公民館事業用事務消耗品
		役務費	51 千円	ピアノ調律
財源内訳	R2年度 支出済額 847 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
		一般財源	847 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.73人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.73人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	8.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
コスト 支出	行政費用 A				28,336
	(1)現金を伴う支出 (千円)				26,134
	事業費(支出済額)				847
	償還金利息				0
	人件費合計(①+②+③)				25,287
	①常時勤務職員等の給与等				6,324
	②会計年度任用職員の報酬等				18,568
	③退職金相当額				395
	(2)現金を伴わない支出 (千円)				2,202
	①減価償却費				0
	②退職給与引当金繰入額				2,202
	③不納欠損額				0
④その他 ()				0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)					65.12 435,121

成果実績	指標名	公民館事業参加者数	目標				16,311	単位 延人
			実績				1,073	単位 延人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由							
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-	-	-	-	26,408.20	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1)	令和2年度末時点の課題	コロナ禍の中、一部事業をWEB開催とするなど工夫し、49事業中22事業を実施することができたが、令和3年度以降新しい生活様式に対応した事業をどのように開催するかが課題である。事業を通じ、サークル等地区内の活動を片瀬地区全体の活動につなげるため、地域課題を把握することが必要。
(2)	課題解決のための今後の取組	コロナ禍における新しい生活様式を取り入れた事業の企画、緊急事態宣言発令時における既存事業のWEB開催等、柔軟に事業を実施することで、当初計画どおりの事業ができるようにする。片瀬地区の地域課題をセンター、公民館、各地域団体・サークルで共有し、解決に向け手法等の検討を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言の発令を受ける中で、49事業中22事業しか実施できなかったが、一部事業をWEB開催に切り替えて実施するなど、新たな手法を活用して事業を展開することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	市民の社会教育活動、生涯学習活動を停滞させないため、新型コロナウイルス感染症対策を講じ安全・安心な公民館事業を展開し、引き続き学びの場を市民に提供することで、市民活動の促進を図る。 また、片瀬地区公民館評議員会や地域団体の会議において、課題を把握・共有することで、片瀬地区の活性化のために求められる事業の検討を地域全体で行い、公民館事業を通じて解決に向けた人材の育成、地域資源の活用を行うことで、藤沢市公民館事業計画の基本方針に位置づけられた「人づくり・つながりづくり・地域づくり」を推進する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
17	公民館使用申請に関すること	無	無	1	
18	公民館使用料に関すること	無	無	1	
19	公民館使用取消申請に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	公民館整備費										担当課	部課名	生涯学習部片瀬公民館			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	005	説明	01	課等の長	横田 淳一	電話	6264

1. 事業概要

事業開始年度	令和 2 年度	終了(予定)年度	令和 2 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	供用開始から22年を経過し老朽化による不具合が生じている片瀬しおさいセンターの空調設備の冷温水発生機3機を更新する。						
対象	1. 個人	市民				435,121	人
根拠法令等							
事業実施内容	空調設備の冷温水発生機3機の更新。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 44,335 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	9 千円	工事に伴う設計図書の印刷
		役務費	1,096 千円	設備の不具合に対する緊急作業
財源内訳	R2年度 支出済額 44,335 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金	25,000 千円	
		県支出金		
その他 (地方債)	13,600 千円			
一般財源	5,735 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.02 人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00 人工
合計	0.02 人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00 人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
コスト 支出	行政費用 A				44,579
	(1)現金を伴う支出 (千円)				44,519
	事業費(支出済額)				44,335
	償還金利息				0
	人件費合計(①+②+③)				184
	①常時勤務職員等の給与等				173
	②会計年度任用職員の報酬等				0
	③退職金相当額				11
	(2)現金を伴わない支出 (千円)				60
	①減価償却費				0
	②退職給与引当金繰入額				60
	③不納欠損額				0
④その他 ()				0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)					102.45 435,121

